

高知県長期漁海況予報

平成21年下半期(8～12月)の漁況・海況の予想

平成21年8月発行 高知県水産試験場

このたび、平成21年8月から12月を予測期間とした「平成21年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁況海況予報会議」が横浜市で開催されました。独立行政法人水産総合研究センター、高知県及び関係都道府県等の最新の調査結果から長期予報が作成されましたので、高知県関係を中心にその概要をお知らせします。

予報の概要

海況

黒潮：黒潮は、都井岬沖～足摺岬沖では、8～9月及び12月に離岸傾向となる。室戸岬沖～潮岬沖では8～9月は接岸傾向、10月以降は離岸傾向で推移する。
沿岸水温：「平年並み」～「高め」で推移する。

漁況

マイワシ： 前年並みから下回る
ウルメイワシ： 前年並みから下回る
マアジ： 前年並みから下回る
サバ類： 前年並み

* 詳しい内容については次ページ以下をご覧ください。

海 況

【海況の経過（平成21年1月～6月）】

1. 黒潮

足摺沖では、4月上旬まで2月中旬頃からの「接岸」傾向が継続していましたが、4月中旬から「やや離岸」し、その傾向が続いていました。

室戸岬沖では、2月上旬からの「やや離岸」傾向が4月下旬まで継続しました。5月上旬に一時的に「接岸」傾向を示したものの、その後次第に離岸し、6月中旬には「かなり離岸」となりました。その後、接岸傾向に転じています。

以上のように、高知県沖における今期の黒潮は小規模な変動を示しつつ接岸～やや離岸で推移しました。

表 1

黒潮流軸位置階級区分（足摺岬、室戸岬）	
階級区分	範囲（マイル）
接岸	< 25
やや離岸	25 、 < 45
かなり離岸	45 、 < 65
著しく離岸	65

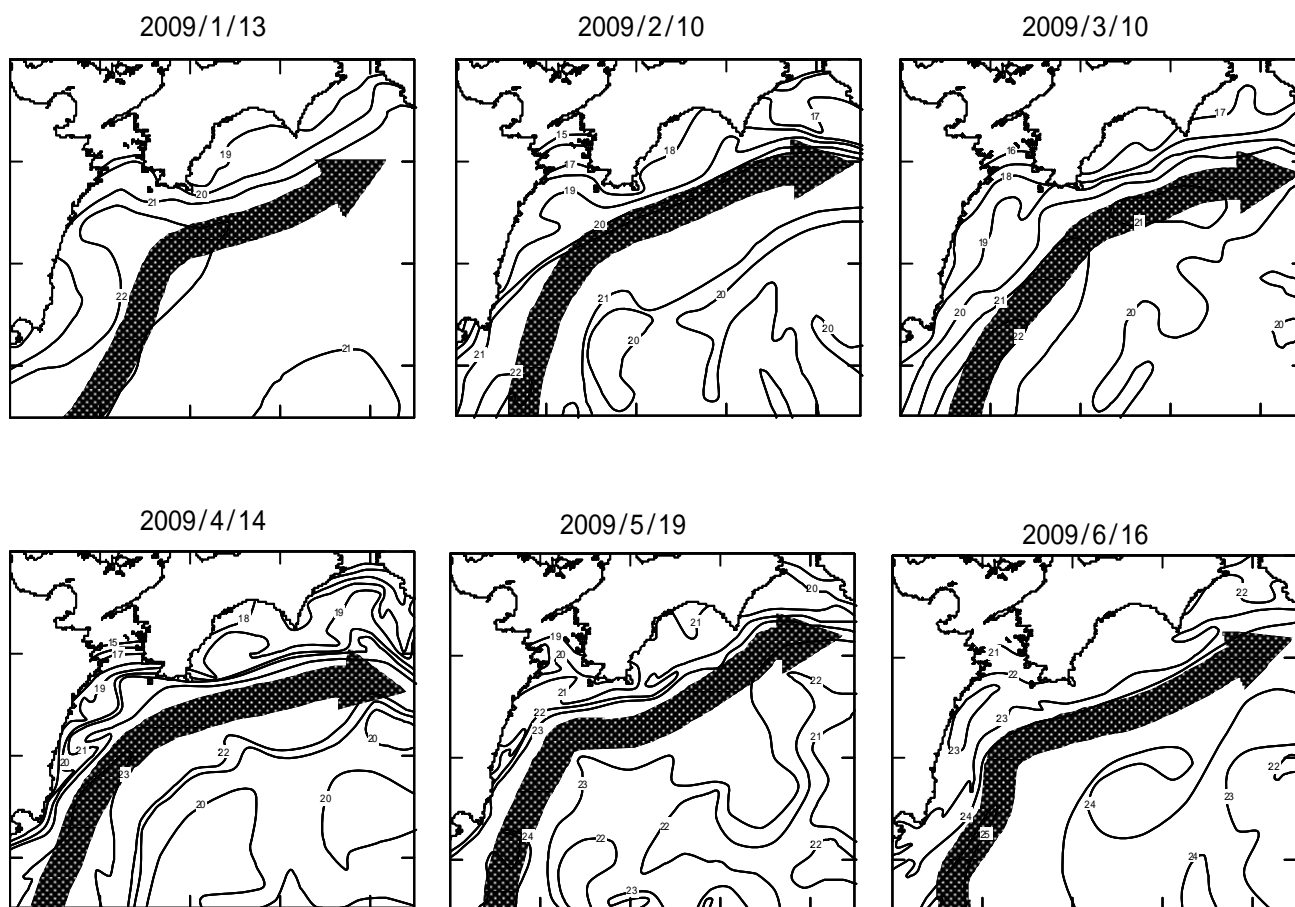


図 1 NOAA 衛星海表面水温画像等から推定した黒潮流軸位置

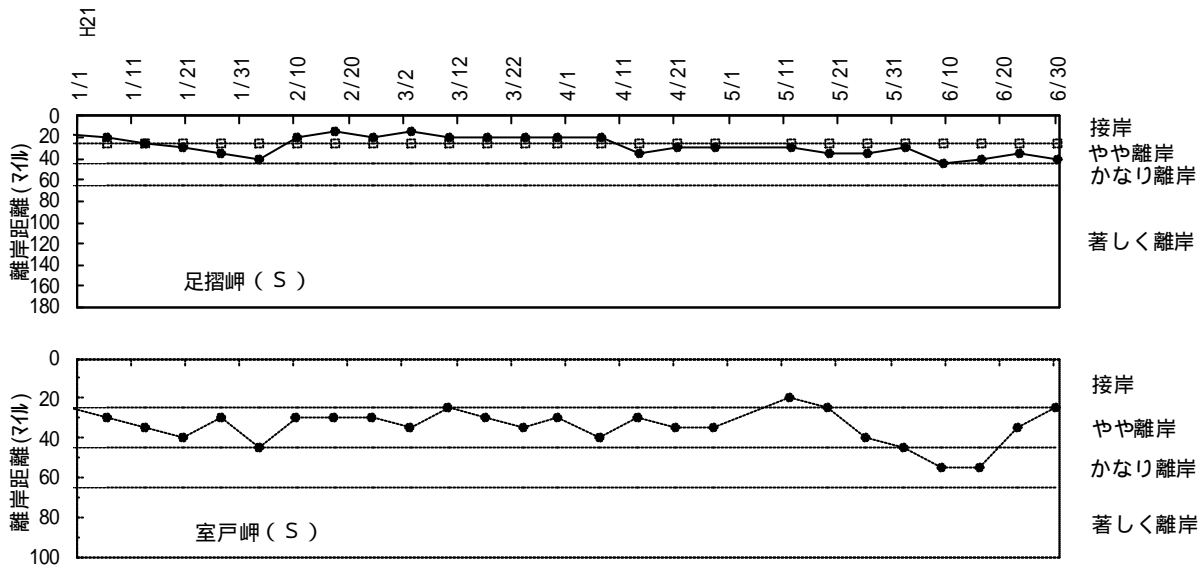


図2 足摺岬及び室戸岬からの黒潮流軸離岸距離（高知県漁海況速報より）

2. 沿岸水温

概ね「平年並み」で推移しましたが、4月の100m層及び200m層で過去3番目の低水温が記録（1975年以降）されるなど、4～6月の100m以深において低水温が観測されました。

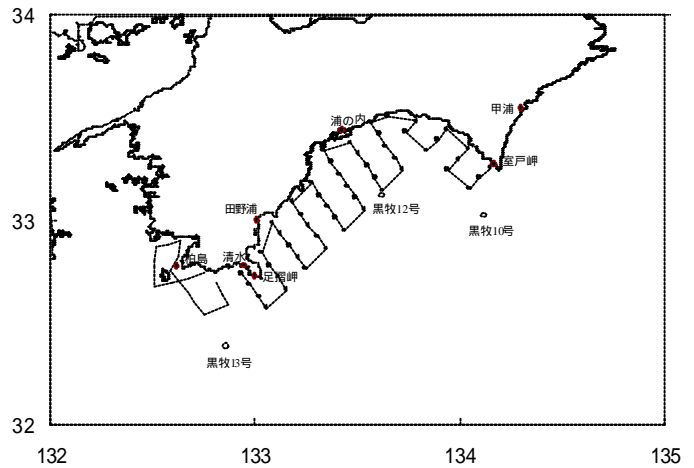


図3 土佐湾観測点

表2 土佐湾平均水温の平年偏差

水深	0m	50m	100m	200m
平成21年4月	+-	++	-	---
平成21年5月	+-	-	-	-
平成21年6月	+-	+-	+-	--

表3 土佐湾水温平年偏差の階級区分

記号	呼称・内容	偏差範囲
+++	著しく高め	2.2 以上
++	かなり高め	1.3～2.2
+	やや高め	0.6～1.3
+-	平年並(+基調)	0.0～0.6
---	著しく低め	-2.2 以下
--	かなり低め	-1.3～-2.2
-	やや低め	-0.6～-1.3
-+	平年並(-基調)	0.0～-0.6

3. 特異現象

海況

- ・沿岸定線観測において、4月の100m層及び200m層の水温が過去3番目の低水温となりました（1975年以降、欠測年あり）。

漁況

- ・カツオ曳縄漁が著しく不漁
- ・浦ノ内湾内でのアサリ漁が不振
- ・機船船曳網漁に混入するアカクラゲの被害報告が数多く寄せられました。
- ・2月に9キロ級のブリが定置で好漁。来遊時期の遅れが指摘される近年では珍しい寒ブリの好漁となりました。

【今後の見通し（平成21年8～12月）】

1. 黒潮

流型：潮岬以東の黒潮は、期間を通してC型基調で推移し、8～9月には一時的に八丈島の北を通る見込みです。

四国沖の黒潮：黒潮は、都井岬沖～足摺岬沖では8～9月及び12月に離岸傾向となる見込みです。また、室戸岬沖～潮岬沖では8～9月は接岸傾向、10月以降は離岸傾向で推移する見込みです。

（根拠）

人工衛星による日本南方海域の海面高度データを利用した小蛇行の形成・発達・東進の予測手法によっています。

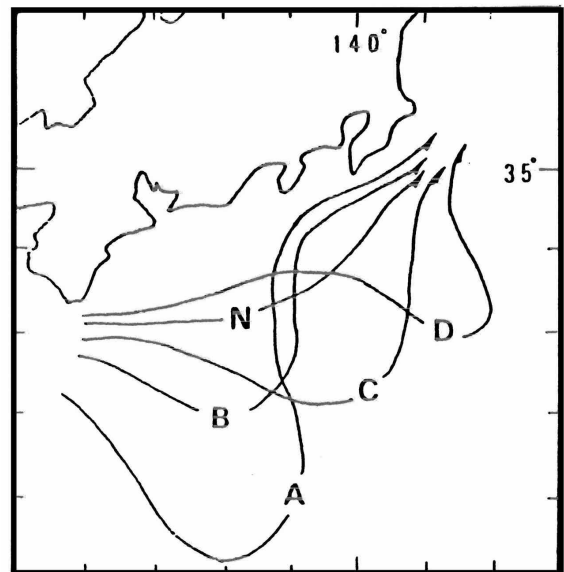


図4 黒潮の流型(吉田:1961、二谷:1969)

2. 沿岸の水温

「平年並み」から「高め」で推移する見込みです。

（根拠）

- ・高松地方气象台発表の「四国地方3か月予報」（6月25日発表、予報期間7～9月）によると、期間中の平均気温は「高い」か「平年並み」となっています。
- ・近年、土佐湾の表面水温は高め傾向で推移しています。

漁 況

1 サバ類(ゴマサバ及びマサバ)

【漁況経過(平成21年4~6月)】

1 高知県

(1)宿毛湾の中型まき網による漁獲量は187.5トン(以下、漁獲量は期間中の合計を示します)で、前年比58%、平年比12%(以下、平年とは平成10年から平成19年の10年間の平均値を示します)でした。まき網漁獲物の体長測定結果によると、漁獲の主体はゴマサバで2才魚主体でした。

(2)定置網(窪津・椎名2水揚地合計)による漁獲量は380.0トンで、前年比460%、平年比386%でした。漁獲物の測定並びに県東部室戸地区(高岡)の定置網入網調査等の結果によると、主体はゴマサバがほとんどを占め、2~3才魚が主体でした。

(3)釣(立縄・多鈎釣等、土佐清水・加領郷・室戸・甲浦4水揚地合計)による漁獲量は425.0トシで、前年比132%、平年比129%でした。魚体測定の結果、漁獲のほとんどはゴマサバで、前年同様3才魚(平成18年生まれ)以上が主体でした。

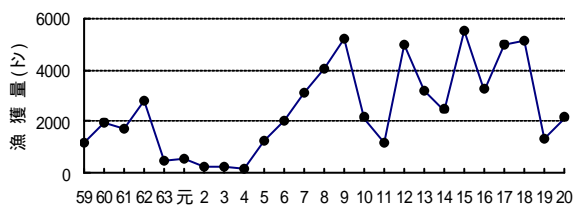


図 サバ類漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

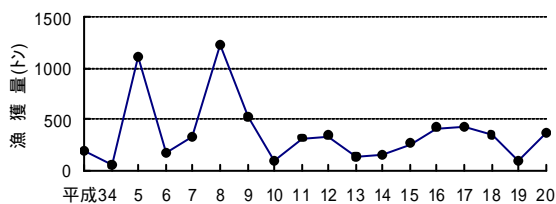


図 サバ類漁獲量の推移(窪津・椎名:大型定置網)

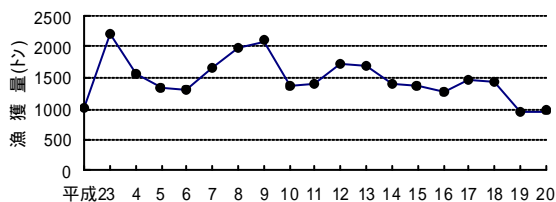


図 サバ類月別漁獲量の推移(清水・加領郷・室戸・甲浦:立縄等釣り)

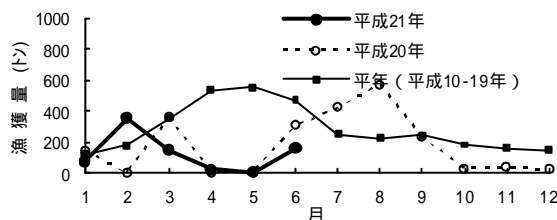


図 サバ類月別漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

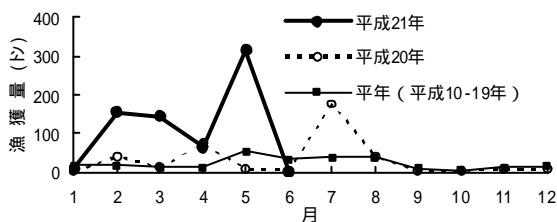


図 サバ類月別漁獲量の推移(窪津・椎名:大型定置網)

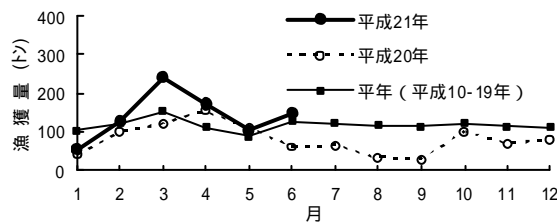


図 サバ類漁獲量の推移(清水・加領郷・室戸・甲浦:立縄等釣り)

2 周辺各県の経過

宮崎県：日向灘のまき網による1～6月の総漁獲量は、ゴマサバ主体に3,676トンで、前年比163%、
平年比76%でした。

愛媛県：豊後水道のまき網では南部海域を中心に漁場が形成され、4～6月の総漁獲量は231トン
で前年比889%、平年比18%でした。

和歌山県：紀伊水道外域の2そうまき網による4～6月の総漁獲量はゴマサバ主体に485トンで、
前年比27%、平年比58%でした。

【漁況予測（平成21年8～12月）】

(1) 漁獲対象：1才魚(平成20年生まれ)、2才魚(平成19年生まれ)、3才魚(平成18年生まれ)

(2) 来遊水準：

- ・ゴマサバ：1才魚は少なく2才魚は前年並となります。全体としては、前年並と考えられます。
- ・マサバ：来遊量は1才魚が減少し、2才魚が増加します。3才以上をあわせた全体としては、前年並と考えられますが、依然、低水準で推移する見込みです。

(参考)前年(平成20年)8～12月のサバ類漁獲量

宿毛湾の中型まき網 892 トン

定置網(窪津・椎名合計) 62 トン

釣(立縄・多鉤釣等、清水・加領郷・室戸・甲浦4水揚地合計) 315 トン

説明：

ゴマサバ：ゴマサバ太平洋系群の平成21年の資源の水準は「高位」、動向は「減少」と評価されています。この資源量は、0才魚が多いものの、1才魚以上が少なく、全体としては前年に近いと推定されています。また、高知県の漁獲量も釣や定置網を中心に前年以上で推移していることから、期間中のゴマサバ全体としての本県への来遊量は、前年並と考えられます。

マサバ：マサバ太平洋系群の平成21年の資源の水準は「低位」、動向は「増加傾向」と評価されています。包括的な太平洋沿岸の資源量調査の結果、平成21年は2才魚(平成19年生まれ)が主体となり、1、3才魚以上の残存資源量は少ないと推定されています。ここでの漁況予測は、このことを中心に、高知県の漁況情報を加味して、作成しました。

II マアジ

【漁況経過（平成21年4～6月）】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による漁獲量は168トンで、前年比57%、平年比53%でした。銘柄別では、150g以上の「アジ」が120.7トンで、前年比68%、平年比92%でした。150g未満の銘柄「ゼンゴ」は47.4トンで、前年比41%、平年比25%でした。漁獲物の体長測定結果等によると1才魚以上を主体に漁獲していたと思われます。
- (2) 定置網（窪津・椎名2水揚地合計）による漁獲量は283.6トンで、前年比206%、平年比124%でした。

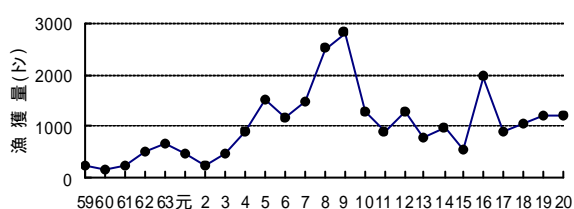


図 マアジ漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

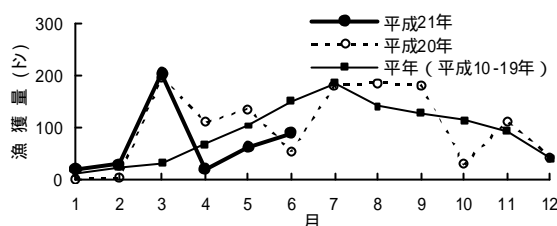


図 マアジ月別漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

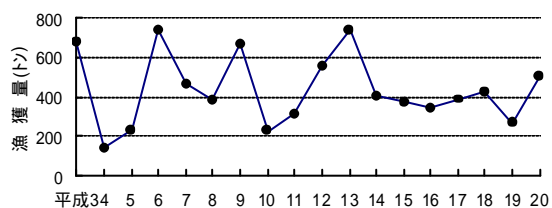


図 マアジ漁獲量の推移（窪津・椎名：大型定置網）

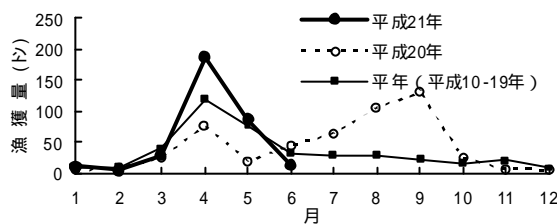


図 マアジ月別漁獲量の推移（窪津・椎名：大型定置網）

2 周辺各県の経過

- 宮崎県：日向灘のまき網による1～6月の総漁獲量は521トンで、前年比65%、平年比39%でした。
- 愛媛県：豊後水道では中部海域を主体に漁場が形成され、4～6月の総漁獲量は632トンで、前年比48%、平年比43%でした。
- 和歌山県：紀伊水道外域2そうまき網による4～6月の漁獲量は653トンで、前年比240%、平年比83%でした。

【漁況予測（平成21年8～12月）】

- (1) 漁獲対象：0才魚（平成21年生まれ）主体に1才魚（平成20年生まれ）以上が混じる。
- (2) 来遊水準：前年並みから下回ると考えられます。

(参考)前年(平成20年)8~12月のマアジ漁獲量

宿毛湾の中型まき網 544 トン

定置網(窪津・椎名合計)270 トン

説明:

マアジ太平洋系群の資源水準は「中位」、動向は「減少」と評価されています。予測期間中は、0才魚(平成21年生まれ)が主な漁獲対象となります。この0才魚は、高知県海域をはじめ、西日本の各地でおおむね低い来遊水準にあると考えられることから、本年下半期の来遊水準は前年並みから下回ると推定されます。

III マイワシ

【漁況経過(平成21年4~6月)】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による漁獲量は252.9 トンで、前年比630%、平年比269%でした。漁獲は4月に集中していました。漁獲物の体長測定結果によると、4月は体長18cm台の1才魚(平成20年生まれ)を主体に漁獲していたと考えられます。
- (2) 定置網(窪津・椎名2水揚地合計)による漁獲量は2.0 トンで、前年比126%、平年比4%でした。漁獲物の体長測定結果によると、主体は0才魚(平成21年生まれ)でした。

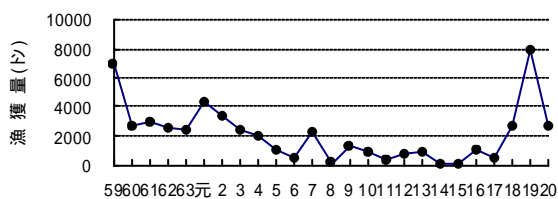


図 マイワシ漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

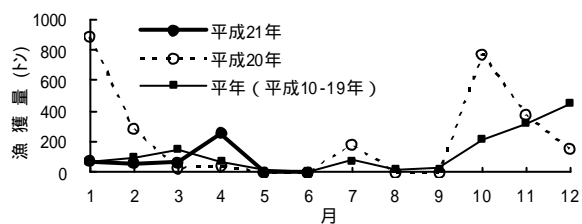


図 マイワシ月別漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

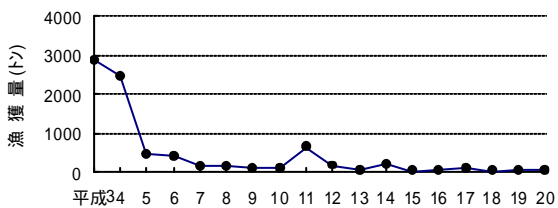


図 マイワシ漁獲量の推移(窪津・椎名:大型定置網)

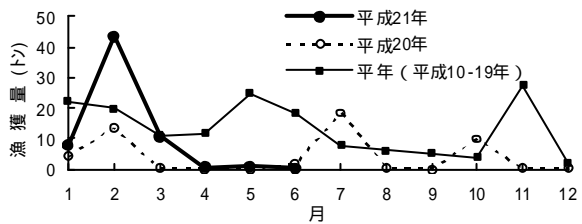


図 マイワシ月別漁獲量の推移(窪津・椎名:大型定置網)

2 周辺各県の経過

宮崎県：日向灘のまき網による1～6月の総漁獲量は244トンで、前年比45%、平年比29%でした。
愛媛県：豊後水道のまき網では南部に若干の漁がみられ、4～6月における総漁獲量は21トンで前年比14%、平年比1%でした。

和歌山県：紀伊水道外域東部から熊野灘の1そうまき網による4～6月の総漁獲量は44.5トンで、前年比1,060%、平年比29%でした。

【漁況予測（平成21年8～12月）】

- (1) 漁獲対象：0才魚（平成21年生まれ）主体。
- (2) 来遊水準：前年並みから前年を下回ると考えられます。

(参考)前年(平成20年)8～12月のマイワシ漁獲量

宿毛湾の中型まき網 1,298 トン

定置網(窪津・加領郷・椎名合計) 10.4 トン

説明：

マイワシ太平洋系群の資源量は依然低水準で推移しています。本県における下半期の主な漁獲対象となる0才魚（平成21年生まれ）は、高知県海域を含む各地で前年並みから下回る来遊水準にあると考えられています。また、本年の上半期に定置網などで散発的に漁獲された1才（平成20年生まれ）以上の魚は少なく、来遊するとしても散発的なものと推定されます。以上のことから、予測期間中の来遊水準は前年並みから下回ると考えられます。

IV カタクチイワシ

【漁況経過（平成21年4～6月）】

1 高知県

(1) 宿毛湾の中型まき網による漁獲量は935.7トンで、前年比750%、平年比250%でした。銘柄別では幼魚「ド口」が178.4トンで、前年比372%、平年比148%でした。未成魚・成魚の銘柄「タレ」は757.3トンで、前年比987%、平年比299%でした。漁獲物の測定結果によると、体長12～13cm台の1才魚を主体に漁獲していたと考えられます。

(2) 定置網(窪津・椎名2水揚地合計)による漁獲は57.8トンで、前年比106%、平年比136%でした。

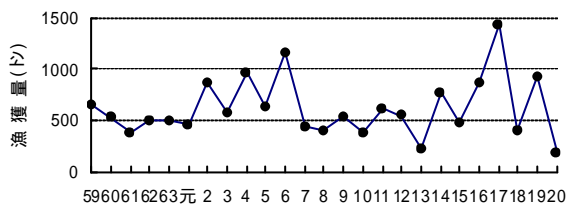


図 カサヅヅ漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

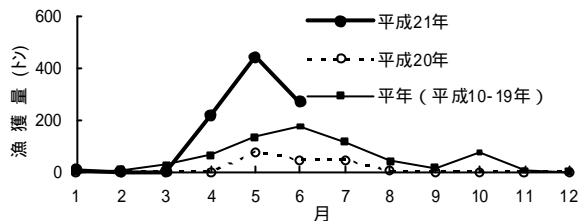


図 カサヅヅ月別漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

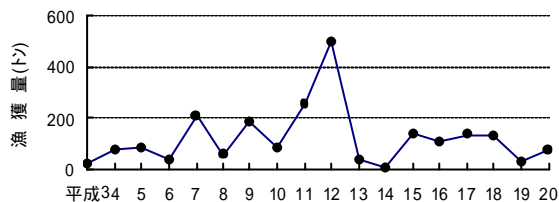


図 カサヅヅ漁獲量の推移（窪津・椎名：大型定置網）

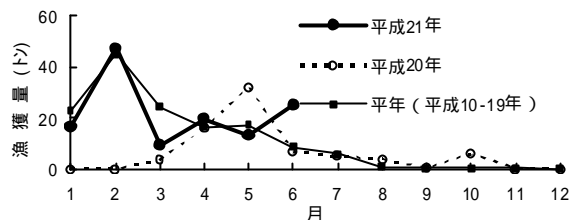


図 カサヅヅ月別漁獲量の推移（窪津・椎名：大型定置網）

2 周辺各県の経過

宮崎県：日向灘のまき網による1～6月の総漁獲量は1,051トンで、前年比107%、平年比29%でした。

愛媛県：豊後水道では南部海域を中心に漁場が形成され、4～6月の総漁獲量は2,453トンで前年比300%、平年比309%でした。

和歌山県：成魚は主たる漁獲対象ではありません。

【漁況予測（平成21年8～12月）】

高知県海域では、下半期に主たる漁獲対象になりません。

V ウルメイワシ

【漁況経過（平成21年4～6月）】

1 高知県

(1) 宿毛湾の中型まき網による漁獲量は1,321.7トンで、前年比82%、平年比246%でした。体長測定から1才魚（平成20年生まれ）を主体に漁獲していたと考えられます。

(2) 定置網（窪津・椎名2水揚地合計）による漁獲量は11.3トンで、前年比39%、平年比41%でした。

(3) 宇佐漁協の多鈎釣漁（土佐湾中央部）による漁獲量は2.3トンで、前年比45%、平年比16%でした。

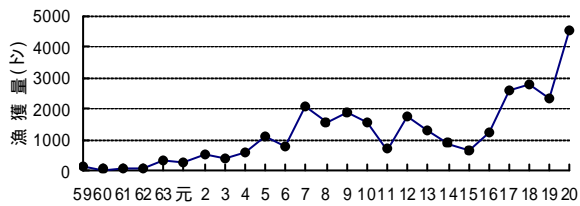


図 ウルメイワシ漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

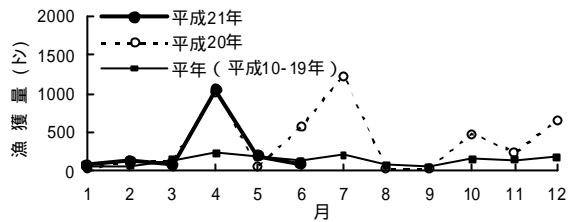


図 ウルメイワシ月別漁獲量の推移（中型まき網：宿毛湾）

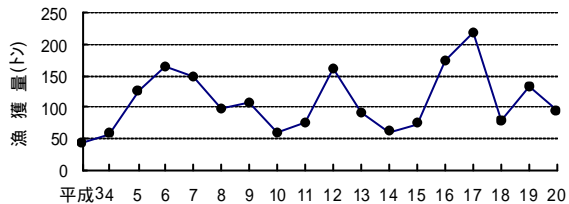


図 ウルメイワシ漁獲量の推移（定津・椎名：大型定置網）

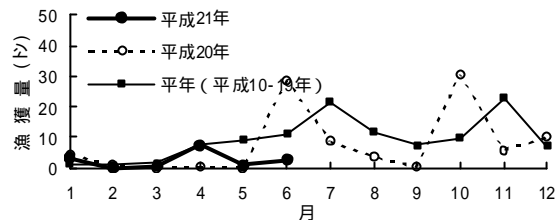


図 ウルメイワシ月別漁獲量の推移（定津・椎名：大型定置網）

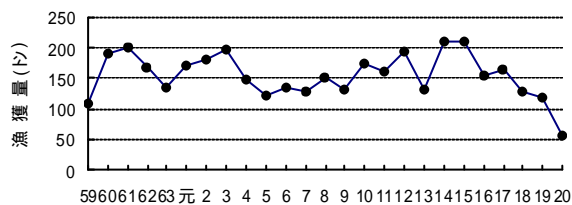


図 ウルメイワシ漁獲量の推移（宇佐：土佐湾中央部 多鈎釣）

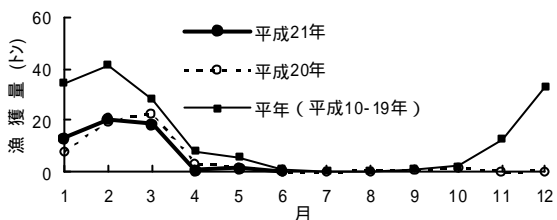


図 ウルメイワシ月別漁獲量の推移（宇佐：土佐湾中央部 多鈎釣）

2 周辺各県の経過

宮崎県：日向灘のまき網による1～6月の総漁獲量は2,830トンで、前年比132%、平年比131%でした。

愛媛県：豊後水道は南部海域を中心に漁場が形成され、まき網による4～6月の総漁獲量は771トンで、前年比272%、平年比159%でした。

和歌山県：紀伊水道外域東部から熊野灘における1そうまき網は、8～11月の総漁獲量が188トンで、前年比68%、平年比152%でした。

【漁況予測（平成21年8～12月）】

- (1) 漁獲対象：0才魚（平成21年生まれ）主体。
- (2) 来遊水準：前年並から下回ると考えられます。

（参考）前年（平成20年）8～12月のウルメイワシ漁獲量

宿毛湾の中型まき網：1,409トン

定置網（定津・椎名合計）：51トン

多鈎釣漁（宇佐漁協）：2トン

説明：

ウルメイワシの資源水準は高水準にあります。一方、今後の主体となる 0 才魚（平成 21 年生まれ）の来遊状況は、近隣県では良好であるものの、高知県海域ではやや下回る傾向があります。以上のことから、高水準にはあるものの前年並みから下回る来遊と考えられます。

VI シラス

【漁況経過（平成 21 年 4～6 月）】

1 高知県

機船船曳網（安芸地区 4水揚地・春野町・錦浦・田野浦 7水揚地合計）による漁獲量は 181.2 トンで、前年比 115%、平年比 105%でした。魚種組成はカタクチイワシが主体にマイワシとウルメイワシが混じりました。

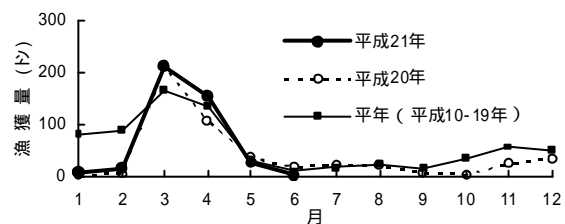
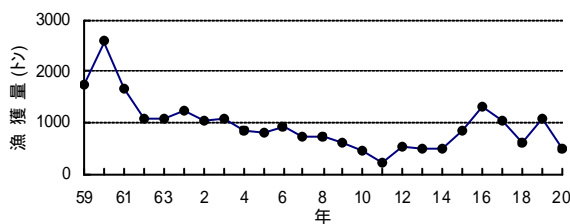


図 シラス漁獲量の推移（安芸地区、春野町、錦浦、田野浦計7漁協） 図 シラス月別漁獲量の推移（安芸地区、春野町、錦浦、田野浦計7漁協）

2 周辺各県の経過

宮崎県：1～5月の総漁獲量は 602 トンで、前年比 97%、平年比 45%でした。

大分県：佐伯湾における 4～6月の漁獲量は 13 トンで、前年比 36%、平年比 15%でした。

徳島県：紀伊水道内における 4～6月の漁獲量は 641 トンで、前年比 276%でした。